

各届出書の様式や記入例について

1 「納入書」の記入例

① 納入する金額を減額する場合

※例以外の理由により該当月の特別徴収税額を減額して納入する場合も、納入書の修正方法は同様です。

例) XX年8月分の特別徴収税額が120,000円であったが、退職者が1名出たため、20,000円が減って、納入額が100,000円になった

正しい記入例

「給与分 一括徴収分を含む」欄に
手書きで100,000と記入する。
¥記号は記入しない。

印字されている120,000円を
二重線で抹消する。
訂正印は不要です。

大阪府豊中市 個人市民税 領収証書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		¥20,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	100000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 様	領収日 付印	納 入 金 額	

大阪府豊中市 個人市民税 納入書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		¥20,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	100000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 様	領収日 付印	納 入 金 額	

大阪府豊中市 個人市民税 納入済通知書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		¥20,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	100000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 納	領収日 付印	納 入 金 額	

「合計額」欄に
100,000円と記入する。

「退職所得分」「延滞金」
「督促手数料」欄は
空白のままにする。

誤った記入例 よくあるまちがい

大阪府豊中市 個人市民税 領収証書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		120,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	120000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 様	領収日 付印	納 入 金 額	

大阪府豊中市 個人市民税 納入書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		120,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	120000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 様	領収日 付印	納 入 金 額	

大阪府豊中市 個人市民税 納入済通知書		加入者名	
市町村コード 2:7:2:0:3:5	口座番号 00990-0-960164	豊中市会計管理者	
指定番号 0123-4567		納入金額(1)	
XX年 08月分		120,000	
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なるときは、納入金額(1)の欄を横線で抹消し納入金額(2)の欄に記入してください。	給与分 一括徴収分を含む	納 入 金 額	120000
納期限 XX年 9月10日	退職所得分	納 入 金 額	
小切手の場合は交換決済が終わった後でなければ、本領収証書効力はありません。	延滞金	納 入 金 額	
(特別徴収義務者) 〒561-△△△△	督促手数料	納 入 金 額	
住所 又は所在地 豊中市××町△△-□	合計額	納 入 金 額	100000
氏名 又は名称 株式会社 ○○○○ 納	領収日 付印	納 入 金 額	

印字されている
120,000円を
抹消していない。

「給与分
一括徴収を含む」欄に
120,000円と
記入している。

「退職所得分」欄に
△20,000円と
記入している。

「合計額」欄に差し引きした
100,000円で記入している。

「退職所得分」は退職した人の給与に係る特別徴収分のマイナス額を記入するのに使用するのではなく、退職手当に係る特別徴収分を納入するときに記入します。納入金額欄に、マイナス金額は記入しません。

※例以外の理由により該当月の特別徴収税額を増額して納入する場合も、納入書の修正方法は同様です。

② 納入する金額を増額する場合

例) XX年7月分の特別徴収税額が120,000円であったが、退職者が1名出たため、8月から翌年5月分までの合計100,000円分を一括徴収して、納入額が220,000円となった

正しい記入例

「給与分 一括徴収分を含む」欄に
手書きで220,000と記入する。
¥記号は記入しない。

該当月欄は提出する
異動届出書の
徴収月と一致。

印字されている120,000円を
二重線で抹消する。
訂正印は不要です。

<p>大阪府豊中市 個人市民税 領収証書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 220,000 納 入 金 額 (2) 0</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>上記のとおり領収しました。なお、領収日付印のないものは無効です。(納入者保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 220,000 納 入 金 額 (2) 0</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>上記のとおり納入します。(金融機関又はゆうちょ銀行保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入済通知書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 220,000 納 入 金 額 (2) 0</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 納</p> <p>上記のとおり通知します。(受付店→豊中市指定金融機関→豊中市)(豊中市保管)</p>
--	--	---

「合計額」欄に
220,000円と記入する。

「退職所得分」「延滞金」
「督促手数料」欄は
空白のままにする。

誤った記入例 よくあるまちがい

該当月欄を「7月～5月」に訂正している。

<p>大阪府豊中市 個人市民税 領収証書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 120,000 納 入 金 額 (2) 100,000</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>上記のとおり領収しました。なお、領収日付印のないものは無効です。(納入者保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 120,000 納 入 金 額 (2) 100,000</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>上記のとおり納入します。(金融機関又はゆうちょ銀行保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入済通知書 ㊟</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指 定 番 号 納 入 金 額 (1) XX年 07月分 0123-4567 120,000円</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納 入 金 額 (2) 納 入 金 額 (1) 120,000 納 入 金 額 (2) 100,000</p> <p>納期限 XX年 8月10日</p> <p>督促手数料 合計額 220,000</p> <p>領 収 日 付 印 豊中市××町△△-□ 株式会社 ○○○○ 納</p> <p>上記のとおり通知します。(受付店→豊中市指定金融機関→豊中市)(豊中市保管)</p>
--	--	---

印字されている
120,000円を
抹消していない。

「給与分
一括徴収を含む」欄に
120,000円と
記入している。

「退職所得分」欄に
100,000円と
記入している。

「合計額」欄に加算した
220,000円で記入している。

「退職所得分」は退職した人の給与に係る特別徴収分の一括徴収額を記入するのに使用するのではなく、退職手当に係る特別徴収分を納入するときに記入します。

③ 退職所得がある場合

例) XX年9月分の特別徴収税額が120,000円であったが、退職者が1名出たため、退職所得に係る市・府民税を50,000円徴収し、納入額が170,000円となった

正しい記入例

【表面】

<p>大阪府豊中市 個人市民税 領収証書</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指定番号 納入金額(1) XX年 09月分 0123-4567 ¥20,000</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納税額 給与分一括徴収分 ¥120,000 退職所得分 ¥50,000 延滞金 督促手数料</p> <p>納期限 XX年10月10日 合計額 ¥170,000</p> <p>(特別徴収義務者) 〒561-△△△△ 住所又は所在地 豊中市××町△△-□ 氏名又は名称 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>領収日付印</p> <p>上記のとおり領収しました。なお、領収日付印のないものは無効です。(納入者保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入書</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指定番号 納入金額(1) XX年 09月分 0123-4567 ¥20,000</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納税額 給与分一括徴収分 ¥120,000 退職所得分 ¥50,000 延滞金 督促手数料</p> <p>納期限 XX年10月10日 合計額 ¥170,000</p> <p>(特別徴収義務者) 〒561-△△△△ 住所又は所在地 豊中市××町△△-□ 氏名又は名称 株式会社 ○○○○ 様</p> <p>領収日付印</p> <p>上記のとおり納入します。(金融機関又はゆうちょ銀行保管)</p>	<p>大阪府豊中市 個人市民税 納入済通知書</p> <p>市町村コード 口座番号 加入者名 2:7:2:0:3:5 00990-0-960164 豊中市会計管理者</p> <p>指定番号 納入金額(1) XX年 09月分 0123-4567 ¥20,000</p> <p>納入すべき金額が右の納入金額1の欄の金額と異なるときは、納入金額1の欄を横線で抹消し納入金額2の欄に記入してください。</p> <p>納税額 給与分一括徴収分 ¥120,000 退職所得分 ¥50,000 延滞金 督促手数料</p> <p>納期限 XX年10月10日 合計額 ¥170,000</p> <p>(特別徴収義務者) 〒561-△△△△ 住所又は所在地 豊中市××町△△-□ 氏名又は名称 株式会社 ○○○○ 納</p> <p>領収日付印</p> <p>上記のとおり通知します。(受付店-豊中市指定金融機関-豊中市) (豊中市保管)</p>
--	--	--

「給与分 一括徴収分を含む」欄に
手書きで120,000と記入する。
¥記号は記入しない。

印字されている120,000円を
二重線で抹消する。
訂正印は不要です。

「退職所得分」欄に
手書きで50,000と記入する。
¥記号は記入しない。

「合計額」欄に
170,000円と記入する。

「延滞金」「督促手数料」欄は
空白のままにする。

【裏面】

<p>退職所得に係る 市民税 府民税 納入申告書</p> <p>(あて先) 大阪府豊中市市長 提出 人員 1人</p> <p>退職手当等支払金額 90,000 特別徴収税額 市民税 3,000 府民税 2,000</p> <p>1 氏名 豊中 太郎 退職年月日 XX年 9月 30日 特別徴収税額 市民税 20,000 府民税 9,000 2 氏名 豊中市 退職年月日 年 月 日 特別徴収税額 市民税 円 府民税 円 3 氏名 豊中市 退職年月日 年 月 日 特別徴収税額 市民税 円 府民税 円</p> <p>地方税法第50条の5及び第328条の5第2項の規定により上記のとおり分離課税に係る所得額の納入について申告します。</p> <p>(特別徴収義務者) 〒123456789×××× 住所又は所在地 豊中市××町△△-□ 氏名又は名称 株式会社 ○○○○ 印</p>	<p>納 入 場 所</p> <p>池田泉州銀行 みなと銀行 近畿労働金庫 関西みらい銀行 りそな銀行 大阪協栄信用組合 京都銀行 尼崎信用金庫 近畿産業信用組合 滋賀銀行 大阪信用金庫 のぞみ信用組合 みずほ銀行 大阪シティ信用金庫 大阪北部農業協同組合 三井住友銀行 北おおさか信用金庫 一部、窓口取替業務の取扱 三菱UFJ銀行 京都信用金庫 いがない場合があります。</p> <p>大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県及び和歌山県に所在するゆうちょ銀行・郵便局 豊中市役所(指定金融機関派出所)、区内出張所、新千里出張所</p> <p>○ 納期限までに上記の場所、eTAXの地方税共通納税システムまたは地方税納入サービスにて納入してください。</p> <p>○ 近畿2府4県以外のゆうちょ銀行・郵便局を利用される場合は、当市の指定通知書が必要となります。ただし、前年度利用のゆうちょ銀行・指定郵便局は、指定通知書の提出は必要ありません。</p> <p>○ 納税証明書が必要な場合は、領収証書をご持参ください。</p> <p>◆課税内容について 市民税課 電話 06(6858) 2133 ◆納期限が過ぎた場合について 債権管理課 電話 06(6858) 2161</p>
--	---

退職手当等の支払額と勤続年数から
計算した市・府民税額を記入する。

「特別徴収義務者」欄に法人番号、
所在地、名称を記入する。

※ 金融機関の地方税納入サービス等を利用して、納入書をお持ちでない場合は、市民税課 (06-6858-2133)までご連絡いただけましたら、郵送いたします。

2 「異動届出書」の記入例

① 退職：年税額240,000円(月額20,000円)退職日7月31日 徴収済月7月まで

市町村民税 道府県民税 特別徴収		整理番号			
5		人事課給与係			
豊中市		大阪			
06-6858-XXXX		01234567			
231		2			
豊中市××町△△-		豊中市××町△△-			
株式会社 ○○○○		株式会社 ○○○○			
豊中 未来		特別徴収税額 (年税額)		徴収済税額 (イ)	
4月分		6月分		8月分	
20,000円		40,000円		200,000円	
7月31日		7月31日		7月31日	
1 特別徴収継続の場合		2 一括徴収の場合			
3 普通徴収の場合		4 普通徴収の場合			

「～月分」とは、「実際に給与を支給した(する)月」であり、～月に勤務した対価の給与という意味ではありません。
 例えば、7月分というのは実際に7月に支給した(する)給与を指し、そこから特別徴収した住民税を翌8月10日までに納入いただきます(P6問18参照)。

② 一括徴収：年税額120,000円(月額10,000円)退職日7月31日 徴収済月7月まで

市町村民税 道府県民税 特別徴収		整理番号			
5		人事課給与係			
豊中市		大阪			
06-6858-XXXX		01234567			
231		2			
豊中市△△町×△		豊中市△△町×△			
株式会社 ○○○○		株式会社 ○○○○			
豊中 希望		特別徴収税額 (年税額)		徴収済税額 (イ)	
4月分		6月分		8月分	
10,000円		20,000円		100,000円	
7月31日		7月31日		7月31日	
1 一括徴収の場合		2 一括徴収の場合			
3 普通徴収の場合		4 普通徴収の場合			

ご記入の納入月の
 納入書で必ず納入
 してください。

③ 転勤：年税額360,000円(月額30,000円)退職日9月30日 徴収済月9月まで

市町村民税 給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書
道府県民税 特別徴収

整理番号

人事課給与係
大阪
06-6858-XXXX
231
4年度
5年度
01234567
3

561-XXXX
豊中市××町△△-□
株式会社 ○○○○

豊中市 豊中 豊中市××町×-△

豊中 光
4年4月4日
360,000
120,000
240,000
9月30日

特別徴収税額(年税額) 6月分から10月分まで
未徴収税額(ア) 11月10日納期限分の場合 10月分
未徴収税額(イ) 5月分まで

異動の事由
1 転勤・転籍
2 退職
3 死亡
4 休職
5 長欠
6 支払少額
7 支払不定期
8 その他

異動後の未徴収税額の徴収方法
1 特別徴収継続
2 一括徴収
3 普通徴収(本人が納付)

1 特別徴収継続の場合(給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。)

560-○○○○
豊中市××町×-○
△△△△ カブシキガイシャ
△△△△ 株式会社

人事課 桜塚
月割額 30,000円 を 10月分
0246810
06-6858-○○○○

2 一括徴収の場合(未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。)

3 普通徴収の(一括徴収しない)場合(1及び2に当てはまらない場合に記入してください。)

「～月分」とは、「実際に給与を支給した(する)月」であり、～月に勤務した対価の給与という
意味ではありません。
例えば、7月分というのは実際に7月に支給した(する)給与を指し、そこから特別徴収した
住民税を翌8月10日までに納入いただきます(P6問18参照)。

④ 特別徴収不能：年税額180,000円(月額15,000円)給与の支給額が少なく特別徴収しきれない

市町村民税 給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書
道府県民税 特別徴収

整理番号

人事課給与係
大阪
06-6858-XXXX
231
4年度
5年度
01234567
4

561-XXXX
豊中市××町△△-□
株式会社 ○○○○

豊中市 豊中 豊中市--町×-△

豊中 歩
4年5月5日
180,000
0
180,000
5月30日

特別徴収税額(年税額) 11月10日納期限分の場合 10月分
未徴収税額(ア) 6月分
未徴収税額(イ) 5月分

異動の事由
1 転勤・転籍
2 退職
3 死亡
4 休職
5 長欠
6 支払少額
7 支払不定期
8 その他

異動後の未徴収税額の徴収方法
1 特別徴収継続
2 一括徴収
3 普通徴収(本人が納付)

1 特別徴収継続の場合(給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。)

2 一括徴収の場合(未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。)

3 普通徴収の(一括徴収しない)場合(1及び2に当てはまらない場合に記入してください。)

「異動年月日」は異動届出書を作成した日を記入する。

会社で受給者番号が必要な場合のみ記入する。

豊中市で新たに特別徴収となる場合のみ納入書の要・不要を選択する。

年度 市民税・府民税の特別徴収への切替依頼書

受付印 (あて先) 大阪府豊中市市長 年月日 提出	特別徴収義務者 給与支払者		法人番号 (個人番号は記載不要)		特別徴収義務者 指定番号			
			フリガナ		所属			
	名称 (氏名)		代表者名		連絡先 氏名		電話	
所在地 (住所)		郵便番号		電話番号				

フリガナ 氏名		年税額 (ア) ※2		円
現住所		納付済税額 (イ)		円
住所 (1月1日)		差引徴収税額 (ア)-(イ)		円
生年月日		特別徴収 (給与差引)		円
備考		お問い合わせ番号		円
備考		受給者番号		円
備考		普通徴収税額の 口座振替該当有無		円

※1・特別徴収開始月(6月を除く)は原則毎月10日までに届いたものは届いた月の翌月開始(税額通知の発送は当月下旬)、11日以降に届いたものは届いた月の翌々月開始(税額通知の発送は翌月下旬)となります。
 (例) 7月10日に届いた場合…8月分から特別徴収開始 / 7月11日に届いた場合…9月分から特別徴収開始
 ・6月からの特別徴収の開始を希望される場合は、その年の4月10日(土・祝日の場合はその翌日)までに本届出(依頼)書を提出してください。
 その日以降に本届出(依頼)書が届いた場合には、7月以降に特別徴収が開始されますのでご注意ください。
 ※2・年税額欄には、納税通知書の「年税額」欄の金額を記入してください。
 (注)・過年度該当分は、特別徴収に切り替えることができません。
 ※下記の欄には記入しないでください。

市記入欄	控送付有 /	納付書	1・2・3・4	返却有	切替	可・不可
------	--------	-----	---------	-----	----	------

(分納・納期限後切替処理)

3 「切替依頼書」の記入例

年税額120,000円 普通徴収納付済60,000円(2期分) 特別徴収切替希望月10月

××年度 市民税・府民税の特別徴収への切替依頼書

受付印 (あて先) 大阪府豊中市長 ××年6月16日 提出	給与支払者 (特別徴収義務者)	法人番号 (個人番号は記載不要) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 × × × ×	特別徴収義務者 指定番号 0100-××××
	フリガナ ○○○○	名称 (氏名) ○○○○株式会社	連絡先 所属 人事課
	代表者名 △△ △△	所在地 (住所) 豊中市中塚塚3丁目1番1号	氏名 桜塚 花子
	郵便番号 561 - 8501		電話 06-68××-××××

給与所得者	フリガナ トヨナカ ミライ	年税額(ア) ^{※2} 120,000 円
	氏名 豊中 未来	納付済税額 (イ) 2 期分 60,000 円 月随時分まで
	現住所 豊中市中塚塚3丁目×番10-303号	差引徴収税額 (ア)-(イ) 60,000 <small>※普通徴収の納付書は二重納付を防止するため破棄をお願いいたします。</small>
	住所 (1月1日) 同上	特別徴収 (給与差引) <input type="text" value="10"/> 月分 から特別徴収を希望します <small>(納期限は翌月10日です。)*1をご参照ください。</small>
	生年月日 明・大・ 昭 ・平 61 年 9 月 7 日	お問い合わせ番号 12345678 <small>※普通徴収の納付書に記載のお問い合わせ番号を記入してください。</small>
	備考	受給者番号 00001 <small>※通知書に受給者番号の印字が必要な場合は記入してください。</small> 普通徴収税額の □口座振替該当有無 有 ・ <input type="radio"/> 無

残りの納付書は回収して破棄してください。

会社で受給者番号が必要な場合のみ記入

「～月分」とは、「実際に給与を支給する月」であり、～月に勤務した対価の給与という意味ではありません。

例えば、10月分というのは実際に10月に支給する給与を指し、そこから特別徴収する住民税を翌11月10日までに納入いただきます(P6問18参照)。

市記入欄 控送付有 納付書

- 記入例のように、10月分から特別徴収を希望する場合は、9月10日必着でご提出ください。
- 記入例の場合、未納入額60,000円について、10月から翌年5月までの月割額を市で算出してから特別徴収義務者に通知しますので、「特別徴収税額決定・変更通知書」を確認のうえ、ご納入ください。
- 月割額の算出方法は端数の調整などが地方税法に定められた計算方法で算出しますので、月数で単純に割った金額になりませんのでご了承ください。
- 普通徴収の納入期限は次のとおりですので、納入期限が到来しているもの又は既に納付が済んでいるものは特別徴収へ切替ができませんので、ご注意ください。

令和5年度	1 期	2 期	3 期	4 期
普通徴収 納入期限	令和5年 (2023年) 6月30日	令和5年 (2023年) 8月31日	令和5年 (2023年) 10月31日	令和5年 (2023年) 12月28日

特別徴収義務者の名称・所在地等変更届出書

年 月 日 (あて先) 大阪府豊中市市長	フリガナ 名称(氏名) 所在地(住所) 〒 -	指定番号 法人番号 係 フリガナ 氏名 電話	
(特別徴収義務者) 給与支払者			

↑最新の所在地及び名称(氏名)を記入してください。

※誤謬をさけるため、必ずフリガナを記入してください。

※変更がある事項のみ記入してください。

事 項	変更前	変 更 後	年 月 日
法人番号			
フリガナ			
名 称			
フリガナ			
所在地(住所)			
電 話	() -	() -	
書類送付先	フリガナ 所在地(住所)		

変 更 事 由	年 月 日 名称 []	指定番号 []]と合併する。
該当番号に○をつけてください。 1.所在地変更 2.名称変更 3.合併 ※3の場合、右記「合併」欄にも記入してください。 4.分社・分割 5.書類の送付先(変更・新設) 6.その他()	合 併	存続会社 → 名称 [] 解散会社 → 名称 []	
	備 考	*合併・解散等の場合は、別途経緯のわかる文書等も添付してください。 *合併・分社等については、給与所得者異動届出書も併せて提出してください。 *消滅会社となる場合は、その従業員は合併会社への転勤として扱います。 そのため、原則として、別紙「給与所得者異動届出書」の提出が必要となります。	
市記入欄	処理日	処理者	照合者

※この届出書を提出されましても、法人市民税の異動届出書を提出したことはありませんのでご注意ください。

4 「名称・所在地等変更届出書」の記入例

名称・所在地及び送付先の変更の場合：株式会社□□□□が〇〇〇株式会社に名称変更及び住所変更し、給与関連事務を△△株式会社が代行することとなった

特別徴収義務者の名称・所在地等変更届出書			
※この届出書を提出されましたも法人市民税の異動届出書を提出したことはありませんのでご注意ください。	XX年 7月 10日 (あて先) 大阪府豊中市長	フリガナ 〇〇〇〇〇〇	指定番号 0100-XXXX 法人番号 (13ケタの番号)
	給与 支払者 特別徴収義務者	名称 (氏名) 〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇	係 人事課
		所在地 (住所) 〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号	フリガナ サクラヅカ ハナコ
			氏名 桜塚 花子
		電話 06-68XX-XXXX	
※誤謬を訂正するため、必ずフリガナを記入してください。 ※変更がある事項のみ記入してください。		↑最新の所在地及び名称(氏名)を記入してください。	
変更後		変更年月日	XX年 X月 X日
事項	変更前	変更後	
法人番号			
フリガナ			
名称	株式会社□□□□	〇〇〇株式会社	
フリガナ			
所在地 (住所)	池田市城南町1丁目1番1号	豊中市中桜塚3丁目1番1号	
電話	() -	(06) 6858 - 2135	
書類送付先	フリガナ 所在地 (住所)	豊中市寺内1丁目1番1号 △△株式会社気付	
変更事由	該当番号に○をつけてください。 ①所在地変更 ②名称変更 ③合併 ④分社・分割 ⑤書類の送付先(変更・新設) ⑥その他() ※3の場合、右記「合併」欄にも記入してください。	合併	年月日名称[] 指定番号[]と合併する。 存続会社→名称[] 解散会社→名称[] *合併・解散等の場合は、別途経緯のわかる文書等も添付してください。 *合併・分社等については、給与所得者異動届出書も併せて提出してください。 *消滅会社となる場合は、その従業員は合併会社への転勤として扱います。 そのため、原則として、別紙「給与所得者異動届出書」の提出が必要となります。
		備考	
市記入欄	処理日	変更事由を記入	処理者 照合者

送付先の会社名が違う場合は、送付先の会社名も記入する

合併の場合：株式会社□□□は〇〇〇株式会社に吸収合併された

特別徴収義務者の名称・所在地等変更届出書			
※この届出書を提出されましたも法人市民税の異動届出書を提出したことはありませんのでご注意ください。	XX年 7月 10日 (あて先) 大阪府豊中市長	フリガナ 〇〇〇〇〇〇	指定番号 0100-XXXX 法人番号 (13ケタの番号)
	給与 支払者 特別徴収義務者	名称 (氏名) 〇〇〇株式会社 代表取締役 △△△△	係 人事課
		所在地 (住所) 〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号	フリガナ サクラヅカ ハナコ
			氏名 桜塚 花子
		電話 06-68XX-XXXX	
※誤謬を訂正するため、必ずフリガナを記入してください。 ※変更がある事項のみ記入してください。		↑最新の所在地及び名称(氏名)を記入してください。	
存続会社		変更年月日	XX年 X月 X日
事項	変更前	変更後	
法人番号	1234567890123	3210654987032	
フリガナ			
名称	株式会社□□□ □	〇〇〇株式会社	
フリガナ	オオサカシ キタク ウメダ	トヨナカシ ナカサクラヅカ	
所在地 (住所)	大阪市北区梅田1丁目1番1号	豊中市中桜塚3丁目1番1号	
電話	() -	(06) 6858 - 2135	
書類送付先	フリガナ 所在地 (住所)	豊中市寺内1丁目1番1号 △△株式会社気付	
変更事由	該当番号に○をつけてください。 1.所在地変更 2.名称変更 ③合併 4.分社・分割 5.書類の送付先(変更・新設) 6.その他() ※3の場合、右記「合併」欄にも記入してください。	合併	XX年 7月 20日 名称[〇〇〇株式会社] 指定番号[0100-XXXX]と合併する。 存続会社→名称[〇〇〇株式会社] 解散会社→名称[株式会社□□□] *合併・解散等の場合は、別途経緯のわかる文書等も添付してください。 *合併・分社等については、給与所得者異動届出書も併せて提出してください。 *消滅会社となる場合は、その従業員は合併会社への転勤として扱います。 そのため、原則として、別紙「給与所得者異動届出書」の提出が必要となります。
		備考	
市記入欄	処理日	変更事由を記入	処理者 照合者

詳細を記入する

※解散会社に特別徴収をしている人がいる場合は、別途解散会社から、存続会社への異動届の提出が必要です。

5 「指定通知書」の様式

市民税・府民税特別徴収税額の納入にあたり、近畿2府4県(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県)以外に所在するゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は、そのゆうちょ銀行又は郵便局を当市の市民税・府民税(特別徴収税額)の納入取扱店(局)に指定していなければなりません。

下記の「指定通知書」に、利用されるゆうちょ銀行又は郵便局をご記入のうえ、事前にそのゆうちょ銀行又は郵便局に提出してください。

なお、下欄の特別徴収義務者の提出控えにもご記入のうえ、控えとして保管願います。

(特別徴収義務者の提出控え)

貴事業所の納入指定ゆうちょ銀行又は郵便局	
所在地	
名称	

----- 切り取り線 -----

年 月 日

ゆうちょ銀行 店・各支店長様

郵便局長様

大阪府豊中市長
(公印省略)

指 定 通 知 書

貴店(局)を地方税法第321条の5第4項の規定により、当市の市民税及び府民税(特別徴収税額)の納入取扱店(局)に指定しましたので通知します。

認可又は承認番号	貯業二第172号
口座番号	00990-0-960164番
加入者の名称	豊中市会計管理者
取りまとめ局	〒539-8794 大阪貯金事務センター